

関オケだより 2025 年度 vol.1

桜桃のみぎり、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。OBOG の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年の 12 月 14 日に開催された第 76 回定期演奏会では 800 名ものお客様に足を運んで頂き、大盛況を迎えることができました。

さて、この度は団長・OB 系の挨拶、第 48 回サマーコンサートのご案内、関大オケの近況報告、学生指揮の意気込み、そしてスプリングフェスティバルのご報告の以上 5 点のご報告をすべく関オケだよりをお送りいたします。

【団長挨拶】

春から夏へと季節が変わりゆくこのごろ、いかがお過ごしでしょうか。第 75 代団長となりました、安部将慶と申します。OB・OG の皆様には平素よりご厚情を賜り、深く御礼申し上げます。

昨年 12 月 14 日に開催いたしました第 76 回定期演奏会では、約 800 名を超えるお客様にご来場いただき、大盛況のうちに終演することができました。これも、日ごろからご支援をいただいております OB・OG の皆様の力添えのおかげです。団員を代表して心より御礼申し上げます。さて、私たちは現在、6 月 21 日に開催いたします第 48 回サマーコンサートに向けて日々練習に取り組んでおります。最高の演奏会にすることができるよう、演奏面・運営面ともに団員一同全力を尽くしてまいります。まだまだ至らぬ点も多いと思いますが、今後とも応援のほど、よろしくお願い申し上げます。



第 75 代団長 安部将慶

【OB 係挨拶】

春色の候、OBOG の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのことと存じます。
今年度の OB 係となりました見学伸哉（けんがく しんや）と申します。

【第 48 回サマーコンサートのご案内】

第 48 回サマーコンサート

日時：2025 年 6 月 21 日（土） 開場 17：00 開演 18：00

場所：豊中市立文化芸術センター 大ホール

曲目：ベートーヴェン：「エグモント」序曲 作品 84

学生指揮 出口礼人 グリーク ：ノルウェー舞曲 作品 85

学生指揮 溝上瑛人 リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェ

ヘラザード」

客演指揮 明石幸大

文化芸術センターへのアクセス

- ・阪急宝塚線 曽根駅より直ぐ（お車でのご来場はご遠慮下さい）

【近況報告】

4 月から新学期が始まり、季節は春を迎え新緑が芽吹く時期となりました。

入学式の式典演奏と新歓期間に行われた図書館前演奏を経て、4 月 19 日に行われた入団式で新たに新入生が 28 人入ってきてくれました。団員は 119 名となり、これからの活動に精が出る大所帯となりました。

また、4 月 6 日には関西大学でスプリングフェスティバルが開催され、満開の桜の元、まだ花冷えの季節でしたが悠久の庭でオープニング演奏を行いました。その後 OBOG の皆様と現役生の懇親会が行われ、現役や OB の方の演奏を聴き、様々のお話をさせていただく貴重な交流の場となりました。

♪学生指揮の意気込み

【2025 年度正指揮者 溝上瑛人】

こんにちは。今年度より正指揮を務めております、バイオリンパート3回生の溝上瑛斗です。今回のサマーコンサートで私が指揮させていただく曲は、エドヴァルド・グリーグ作曲の『ノルウェー舞曲』です。本作は1881年に作曲されたピアノ連弾用の組曲で、後に管弦楽版にも編曲されました。全4曲からなり、ノルウェーの民謡や舞踊のリズムを取り入れた、民族色豊かな作品です。明るく快活な曲から哀愁漂う旋律まで、ノルウェーの自然や人々の情感が色濃く表現されており、グリーグの祖国への深い愛情が感じられる名作です。独特な雰囲気を出すこの曲をしっかりと表現できるように、長い時間をかけて練習に励んでまいりました。

普段の活動、そして此度の演奏会に私たち団員が何不自由なく取り組めるのは、OBOGの皆様のおかげでございます。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。ご多用とは存じますが、ぜひ会場まで足をお運びいただき、演奏を聴いていただければ幸いです。

【2025 年度副指揮者 出口礼人】

皆さま、はじめまして。この度、関西大学交響楽団で副指揮を務めさせていただきます、トランペットパート2回生の出口礼人と申します。

この夏、私が指揮を執らせていただく作品は、ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン作曲《エグモント序曲》です。

市民の自由を求めて立ち上がり、命を懸けて信念を貫いたエグモント伯。その静かな覚悟と、運命に抗う強い意志が、この音楽には脈々と流れています。

重苦しい運命の音から始まるこの序曲は、苦悩を突き抜け、やがて勝利と希望の光へと至ります。その道のりは険しく、しかしだからこそ、美しい。作曲後230年を超えてもなお演奏され続ける、この名作に正面から向き合い、この曲が持つ「自由」への祈り、そして「喜び」を、届けられるよう努めてまいります。

是非とも、豊中市立文化芸術センターへお越しください。